

## 1 菅線に関する検討

### 検討の方向性

- ・上林線と菅線は、信州中野駅からイオン中野店前まで同一区間で運行している。
- ・また、沿線住民の買い物利用(イオン、ツルヤ)と通院利用(中野市内医療機関)に対応しており、同じ役割を担っている。
- ・上林線は観光利用(野猿公苑)にも対応



- ・両路線は重複していると認められる。
- ・重複を解消するため、利用状況に鑑み、**沿線住民の利便性を確保した上で、菅線を廃止する方向で検討を進める。**

### 沿線住民の利便性の確保策(案)

- ・上林線の一部路線変更
- ・中野市:ふれあいバス運行、山ノ内町:楽ちんバス、チョイソコやまのうちの運行拡充

# 上林線と菅線、長野電鉄の重複について

## 2 上林線に関する検討

### 検討の方向性

- ・上林線と長野電鉄は、信州中野駅(圏域拠点)と湯田中駅(地域拠点)を結んでいるが、経路は異なる。
- ・上林線は沿線住民の買い物や通院の需要を取り込んでおり、長野電鉄と役割が異なる。
- ・上林線を廃止した場合でも、品質の保証は維持されるものの、沿線住民の利便性は著しく低下する。
- ・代替路線として1路線を分割して運行すると、経費と人員体制が非効率
- ・菅線廃止を検討しており、同時期に上林線を廃止すると影響が大きい。



**上林線については特別な事情があるものとして幹線として存続**させ、県の新しい支援制度の対象とする。

## 3 今後の検討の方向性(案)

- ・3路線の重複については、**菅線を廃止により当面の対応とする。**
- ・今後も**利用状況等を継続して調査し**、上林線、長野電鉄両路線を存続させるべきかどうか確認する。